

[部会の主な意見]

- ・セオリー評価において、整合性が不明瞭な指標が見られる。指標の再検討が必要である。
- ・医療提供体制の偏在対策について検討が必要である。
- ・ニーズに対して充足しているかの視点も必要。

取組と指標の整合性 (セオリー評価)

- ・個別施策1、2、3については、整合性が不明瞭である。
- ・研修回数を指標としている個別施策については、回数の増減ではなく、基準回数を設定するなどの考え方も検討してはどうか。
- ・個別施策1の指標を「1医療機関あたりの退院支援担当者数」も追加してはどうか。
- ・「訪問薬剤管理指導を実施している薬局数」を「24時間対応が可能な薬局数」とすることを検討してはどうか。

取組の実施状況 (プロセス評価)

- ・施策は概ね適切に実施されていると評価する。
- ・医療提供体制の偏在対策について検討が必要。
- ・離島へき地訪問看護提供体制強化・育成補助金について、実績が少ないため、ニーズを踏まえた支援策を検討してはどうか。

指標の進捗状況 (インパクト評価)

- ・指標の増減比較については、新型コロナウイルスの影響を考慮する必要があり、推移を継続してみていく。

今後の取組方針 (総合評価)

- ・現在の施策を継続するが、プロセス評価で意見のあった離島へき地への訪問看護支援策や、医療提供体制の偏在対策について、今後施策への反映させていく。